

共試機構事発第P086号
平成31年3月28日

公益社団法人全国自治体病院協議会
会長 小熊 豊 殿

公益社団法人
医療系大学間共用試験実施評価機構
理事長 栗原 敏



共用試験医学系臨床実習後OSCE評価者認定講習会開催への
御協力要請について（依頼）

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃、本機構の運営にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

本機構では、「診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験（Post Clinical Clerkship OSCE： Post-CC OSCE；臨床実習後OSCE）」のトライアルを、2017年より全国の医学部・医科大学で行っております。2019年には全医学部・医科大学がトライアルを実施し、2020年に正式実施となります。Post-CC OSCEは、医学科6年生が医師臨床研修を開始できる診療能力を有しているか評価するために行う実技試験です。医師国家試験に準じる試験として、厳格性、信頼性、客観性、公平性等が求められ、共用試験医学系臨床実習後OSCE評価者認定講習会を受講し、認定証（有効期間5年間）を保持する外部評価者の派遣が必須となっております。この外部評価者は他大学教員と研修医を指導する病院医師から構成される必要があり、認定評価者の資格取得を目的とした共用試験医学系臨床実習後OSCE評価者認定講習会への参加者を募っております（参考資料を別紙1として添付しております）。

つきましては、貴団体における臨床研修病院への通知、貴団体主催 指導医講習会などでの広報やホームページなどで、共用試験医学系臨床実習後OSCE評価者認定講習会の開催をご通知いただきたく、御高配くださいますようお願い申し上げます。なお、講習会は添付書類以降も開催する予定ですが、ホームページなどで引き続きご案内いただける場合は、下記までご連絡いただければ幸甚です。

【連絡先】

(公社) 医療系大学間共用試験実施評価機構
事業部 佐藤 麻美、袖山 宏佳
TEL：03-3813-4160 FAX：03-3813-4190
Email：acposce-cato@umin.ac.jp

共用試験 医学系臨床実習後OSCE 評価者認定講習会開催のご案内

●2019年開催予定日・開催地区 開催時間：4月～5月会場 12:00～16:00 他会場 12:30～16:30(予定)

開催年月日	開催地区	開催年月日	開催地区
4月12日(金)	東京都千代田区	9月1日(日)	宮城県仙台市
5月17日(金)	東京都千代田区	11月17日(日)	岡山県岡山市
6月2日(日)	北海道札幌市	12月1日(日)	石川県金沢市
8月4日(日)	愛知県名古屋市		

◎募集開始：各日程開催日 3ヶ月前
◎募集締切：各日程開催日 2ヶ月前

●募集要項

- 主催：公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構
- 受講料：無料
- 定員：各日70～100名程度
- 申込方法：
 - ・pcco-rinken@umin.ac.jp宛に受講申込書の請求を行ってください。折り返し、受講申込書をメール添付でお送りしますので、必要事項を入力して返信してください。
 - ・医科大学・医学部在籍の方は大学ごとの申請ですので、担当者にお尋ねください。
- その他：
 - ・交通費等は、各自でご負担ください。
 - ・駐車場の確保はできませんので、車の利用はご遠慮ください。
 - ・服装は軽装で構いません。
 - ・修了者には評価者認定証（有効期間5年）を発行します。
 - ・原則として遅刻や早退を認めません。



●参加要件は・・・

日本の医師免許を有する医師であり、(注1)、以下の参加要件3つのうちいずれかを満たす場合に受講が可能です。

- 1) 臨床研修指導医(注2)の資格を保持する。
(厚生労働省医政局長名で発行される指導医講習会修了証書を保有する)
- 2) 共用試験実施評価機構が主催する医学系(臨床実習開始前)OSCE評価者認定講習会を修了している(認定証を保有する)。
- 3) 医学生向けのOSCEないし研修医向けのOSCEにおいて、評価経験やステーション責任者の経験(過去5年以内)がある。

(注1) 医師であることを確認するために、参加申込時等に医籍登録番号が必要です。

(注2) 「臨床研修指導医」とは、7年(84ヵ月)以上の臨床経験を有する者で、プライマリ・ケアの指導方法等に関する講習会(いわゆる指導医講習会)を受講済みの者を指します。

(「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について」より)

●講習会概要・・・進行表(例)

- | | |
|--|--|
| ①イントロダクション・アイスブレイキング | ③評価練習 |
| ②講義・DVD試聴
共用試験OSCEの意義と概要
【DVD】受験生用DVD(OSCE概要)
臨床実習前OSCEの目的と学習・評価項目
臨床実習後OSCEの目的と学習・評価項目
OSCEの妥当性と認定評価者
評価表等の説明 | 評価練習①-1 & グループ討議①-1
評価練習①-2 & グループ討議①-2
評価練習②・解説 |
| | ④講義・DVD試聴
【DVD】評価者が気をつけるべきこと
外部評価者制度 |
| | ⑤質疑応答 |

臨床実習後OSCE・外部評価者とは・・・

医学部における教育は近年大きく変動しておりますが、その一つが診療参加型臨床実習の充実です。国家資格を持たない医学生が、診療参加型として患者さんに医師と同様の医行為を行うためには、その能力と適性を評価し、質を保证する必要があるため、2005年から診療参加型臨床実習開始前に主に医学的知識を問う多肢選択筆記試験（CBT：Computer Based Testing）と、主に技能・態度の試験である客観的臨床能力試験（OSCE：Objective Structured Clinical Examination）が行われています。

一方、現行の医師国家試験は知識を評価する試験が中心であり、態度や技能の評価は行われていないことが長年課題とされてきましたが、2020年より“医学部を卒業＝臨床研修開始可能な能力を修得しているか”の観点から、臨床実習で得た臨床能力を評価する試験を6年次に実施することになりました。

試験は、公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構（機構、CATO：Common Achievement Tests Organization <http://www.cato.umin.jp>）提供の課題と、大学独自の課題で実施されます。機構が提供する課題では、臨床研修を開始できる能力を獲得しているかという視点から、受験生を一定の評価表で評価し、試験の妥当性・公平性・透明性を担保するために、学内評価者に加えて他大学および臨床研修病院等からの外部評価者に評価をお願いする予定です。本講習会参加により認定評価者になられた方には、年1～2回程度外部評価をお願いしたいと考えています。

適切な評価をするために臨床実習後OSCEにおける標準化された評価についての講習会を修了して、外部評価者の認定を受けます。医学教育のさらなる充実を目指し、未来の医師を育てる診療参加型臨床実習の実をあげることに是非ご協力いただきたく、講習会のご案内を差し上げます。



臨床実習後OSCEの実際

- ・1課題の試験時間16分（医療面接・身体診察12分＋臨床推論・報告4分）
- ・実際の診療場面と同様に、受験生は一人の（模擬）患者さんを診察し、指導医に報告する

